

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成30年6月28日(2018.6.28)

【公表番号】特表2017-518110(P2017-518110A)

【公表日】平成29年7月6日(2017.7.6)

【年通号数】公開・登録公報2017-025

【出願番号】特願2016-570969(P2016-570969)

【国際特許分類】

A 47 C 1/02 (2006.01)

【F I】

A 47 C 1/02

【手続補正書】

【提出日】平成30年5月21日(2018.5.21)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

座席アセンブリ内で、第1のアセンブリの第2のアセンブリに対する運動を制御するためのシートリクライニング機構において、前記機構は、

前記第1のアセンブリに取り付けるための第1および第2のベアリング手段と、

前記第2のアセンブリに取り付けるためのカムとして機能するハブとを含み、

前記ハブは第1および第2の傾斜面を含み、前記第2の傾斜面は前記第1の傾斜面に対して対向的に面しており、

使用に際して、前記第1のベアリング手段は前記第1の傾斜面に対して作用するように配置され、且つ、前記第1の傾斜面に対しての前記第1のベアリング手段の相対的な位置は可動であり、前記第2のベアリング手段は前記第2の傾斜面に対して作用するように配置され、且つ、前記第2の傾斜面に対する前記第2のベアリング手段の相対的な位置は可動である

シートリクライニング機構。

【請求項2】

前記第1のアセンブリに取り付けるための第3のベアリング手段を更に含み、

前記ハブは第3の面を含み、

使用に際して、前記第3のベアリング手段は前記第3の面に対して作用するように配置され、且つ、前記第3の面に対しての前記第3のベアリング手段の相対的な位置は可動である

請求項1に記載のシートリクライニング機構。

【請求項3】

前記ハブの前記第3の面は、前記第3の面に対する前記第3のベアリング手段の相対的な移動の範囲を制限するための停止手段を含む

請求項2に記載のシートリクライニング機構。

【請求項4】

前記ハブの前記第1および第2の面は、略直線的であるか、

前記ハブの前記第1の面および/または前記第2の面は、溝、凹部または窪みを含む表面の細部を含むか、のいずれか又は両方である、

請求項1から請求項3の何れかに記載のシートリクライニング機構。

**【請求項 5】**

前記の各面は前記ハブの周囲に形成されているか、または、

前記の各面は前記ハブの周囲の内側に形成されている

請求項 1 から請求項 4 の何れかに記載のシートリクライニング機構。

**【請求項 6】**

前記ハブは一体構造体として形成されているか、または、

前記ハブは、複数のハブコンポーネントを含み、前記の各面の 1 個またはそれ以上が 1 個のハブコンポーネントによって提供され、前記の各面の 1 個またはそれ以上の他のものは 1 個またはそれ以上の他のハブコンポーネントによって提供されている

請求項 1 から請求項 5 の何れかに記載のシートリクライニング機構。

**【請求項 7】**

請求項 1 から請求項 6 に記載シートリクライニイグ機構を 1 または複数含む座席アセンブリ。

**【請求項 8】**

前記シートリクライニイグ機構またはそれぞれのシートリクライニング機構に関して、

前記第 1 および第 2 のベアリング手段が取り付けられている前記第 1 のアセンブリは、リクライニング可能なシート構造体であり、

前記ハブが取り付けられている前記第 2 のアセンブリは、前記リクライニング可能なシート構造体のための支持構造体であり、

前記リクライニング可能なシート構造体は、前記の各面に沿って前記ベアリング手段の移動によってリクライニングするやり方で前記支持構造体に対して移動することが可能であるか、または、

前記シートリクライニイグ機構またはそれぞれのシートリクライニング機構に関して、

前記ハブが取り付けられている前記第 2 のアセンブリは、リクライニング可能なシート構造体であり、

前記第 1 および第 2 のベアリング手段が取り付けられている前記第 1 のアセンブリは、前記リクライニイグ可能なシート構造体のための支持構造体であり、

前記リクライニイグ可能なシート構造体は、前記ベアリング手段の位置に対する前記ハブの回転によってリクライニングするやり方で、前記支持構造体に対して移動することが可能である

請求項 7 に記載の座席アセンブリ。

**【請求項 9】**

前記支持構造体に対する前記リクライニイグ可能なシート構造体の角度を可逆的に固定するための手段を更に含む

請求項 8 に記載の座席アセンブリ。

**【請求項 10】**

前記リクライニイグ可能なシート構造体は、背面部および座部を含み、

前記背面部および前記座部は互いに構造的に固定されているか、または、前記シート部に対する前記背面部の角度が調節可能である

請求項 8 または請求項 9 に記載の座席アセンブリ。

**【請求項 11】**

前記シートリクライニイグ機構の動作に依存して移動するよう構成された 1 個またはそれ以上の可動部を更に含み、前記可動部は、伸縮自在のレッグレスト、リクライニイグバックレスト、ヘッドラスト／バックレスト関節部、または折り畳み式アームレストの 1 個またはそれ以上である

請求項 7 から請求項 10 の何れかに記載の座席アセンブリ。

**【請求項 12】**

座席アセンブリ内の第 1 のアセンブリの第 2 のアセンブリに対する運動を制御する方法

において、前記方法は、

第1および第2のベアリング手段を前記第1のアセンブリに取り付けること、

カムとして機能するハブを前記第2のアセンブリへ取り付けることであって、前記ハブは第1および第2の傾斜面を含み、前記第2の傾斜面は前記第1の傾斜面に対して対向的に面していること、

前記ハブの前記第1の傾斜面に対して作用するように前記第1のベアリング手段を配置すること、

前記ハブの第2の傾斜面に対して作用するように第2のベアリング手段を配置すること、

前記ハブの前記第1の傾斜面に対する前記第1のベアリング手段の相対的な位置を動かすこと、および、

前記ハブの前記第2の傾斜面に対する前記第2のベアリング手段の相対的な位置を動かすこと、を含む

方法。

#### 【請求項13】

前記ハブは、第3の表面を更に含み、前記方法は、

第3のベアリング手段を前記第1のアセンブリに取り付けること、

前記ハブの前記第3の表面に対して作用するように前記第3のベアリング手段を配置すること、及び、

前記ハブの前記第3の表面に対する前記第3のベアリング手段の相対的な位置を動かすこと、を更に含む

請求項12に記載の方法。

#### 【請求項14】

前記第1のアセンブリを前記第2のアセンブリに対して1個またはそれ以上の所定の位置において保持させるように、および／または前記ユーザに触覚的なフィードバックを与えるように、前記ハブの前記第1の面および／または前記第2の面に、溝、凹部、および窪みを含む表面細部を組み込むことを更に含む

請求項12から請求項13の何れかに記載の方法。

#### 【請求項15】

前記第1のアセンブリはリクライニング可能な構造体であり、前記第2のアセンブリは前記リクライニング可能な構造体のための支持構造体であり、前記方法は、前記の各面に沿って前記ベアリング手段の移動によってリクライニングするやり方で前記支持構造体に対して前記リクライニング可能なシート構造体を移動させることを更に含むか、または、

前記第2のアセンブリはリクライニング可能なシート構造体であり、前記第1のアセンブリは前記リクライニング可能なシート構造体のための支持構造体であり、前記方法は、前記ベアリング手段の位置に対する前記ハブの回転によりリクライニングするやりかたで、前記支持構造体に対して前記リクライニング可能なシート構造体を移動することを更に含む

請求項12から請求項14の何れかに記載の方法。